

平成28年5月30日

杉並区議会議長
井口 かづ子 様

災害対策特別委員会
委員長 佐々木 浩

災害対策特別委員会活動経過報告書

災害対策特別委員会の活動経過について、下記のとおり報告します。

記

1 活動年月日

- (1) 平成28年 2月25日 報告聴取
- (2) 平成28年 5月14日 報告聴取、委員の派遣
- (3) 平成28年 5月18日 正副委員長互選

2 活動経過

(1) 平成28年2月25日

① 3月11日の取組について

東日本大震災から5年を迎えるにあたり、尊い教訓を語り継ぐとともに、首都直下地震に備え、地域防災力向上を図るため、3月11日に式典及び同時開催イベント並びにシェイクアウト訓練を実施するとのこと。

式典は「3・11を忘れない」と題し、セッション杉並ホールで実施し、内容は、「大切な命を守るために」と題した講演や、南相馬市からのビデオメッセージ、小中学生による防災にかかわる作文コンクール等を予定しているとのこと。

また、式典との同時開催イベントについては、防災まちづくりのパネル展示や東日本大震災写真展等を実施するとのこと。

シェイクアウト訓練については、午前11時に区内で震度6強の地震が発生したとの想定で、安全行動を1分間実施するとのこと。

② 地下水活用システムについて

災害時に水道が止まった際の飲料水等の確保のため、区役所本庁舎に地下水活用システムを導入し、2月1日に給水を開始したとのこと。

システムの概要については、敷地内に井戸を地下11.6m掘削し、取水した井戸水を地下3階のトレンチ部分にてろ過処理し、中棟、西棟の受水槽に飲料水を供給するとのこと。

1時間当たり約1,333人分の飲料水を確保でき、災害時には1日最大3万2,000人分の飲料水を確保することが可能であるとのこと。

電源については、非常用発電機を使用するとのこと。

③ 杉並区耐震改修促進計画の改定案について

区内建築物の耐震化状況などを踏まえ、耐震化の更なる加速と、総合計画及び実行計画の施策である「災害に強い防災まちづくり」の推進を目的に、杉並区耐震改修促進計画の改定案を策定したとのこと。

計画期間は平成28年度から平成33年度までの6年間で、耐震化率96%以上を目標とし、総合計画との整合性を図るとのこと。

改定の方針は2点あり、1点目は、地震の危険性や耐震化の必要性の啓発とし、区の現状を詳細に反映させた地震被害シミュレーションにより被害予測を可視化するとのこと。2点目は、現状の耐震化率が低い分野等を明確にし、取組を強化するとのこと。取組の強化が必要な分野としては、特定緊急輸送道路沿道建築物、木造住宅密集地域、木造集合住宅、非木造集合住宅の4分野であるとのこと。これらの分野の重点的な取組として、助成制度の活用促進や普及啓発、耐震改修助成の拡充などがあるとのこと。

今後は、3月に区民等の意見提出手続を実施し、4月に計画決定の予定であるとのこと。

以上のとおり、3件の報告を聴取し、質疑応答を行いました。

(2) 平成28年5月14日

① 報告聴取

平成28年熊本地震に対する区の対応について

区として、見舞金を4月19日に100万円、熊本県東京事務所に届けたとのこと。また、義援金については、日本赤十字社の募金箱を本庁舎や地域区民センター等に設置し、区職員による義援金も募っているとのこと。

救援物資については、4月19日から21日にかけて防災課職員2名を派遣し、避難所である熊本市火の君文化センターに、食料品やティッシュ等を搬送したとのこと。

また、被災建築物応急危険度判定のため、4月下旬に熊本市と益城町に、2度職員を派遣しており、建築職を第1次は2名、第2次は1名派遣したとのこと。

今後は、罹災証明に関する事務のため、5月17日から24日にかけて熊本市に職員を3名派遣予定とのこと。

② 委員の派遣

「平成28年度杉並区合同水防訓練」を視察するため、以下の場所に委員を派遣した。

都立和田堀公園第一競技場（杉並区大宮2丁目26番）

以上のとおり、1件の報告を聴取し、閉会后、委員の派遣を行いました。

(3) 平成28年5月18日

正副委員長の互選を行った。その結果、委員長には佐々木浩委員、副委員長にはそね文子委員がそれぞれ選出された。

以上